



PLOW 電動運搬車 ダンプ付き

取扱説明書

ET500L



【重要】 本機を操作する前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。



はじめに

この度は、電動運搬車 ET500L をご購入いただき、心より御礼申し上げます。

ご使用になる前に、「安全上のご注意」をすべてお読みいただき、内容をよく理解した上で、製品を正しくお使いください。

この取扱説明書は、いつでも参照できるよう大切に保管してください。

危険 / 警告 / 注意マークについて

以下の警告表示と意味は、本製品に関連する危険のレベルを説明するためのものです。

この取扱説明書では、特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項に関して次のように表示しています。

	危険	・・・注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことになるものを示します。
	警告	・・・注意事項を守らないと、死亡または重症を負う危険性があるものを示します。
	注意	・・・注意事項を守らないと、けがを負うおそれのあるものを示しています。
	重要	・・・注意事項を守らないと、機械の損傷や故障の恐れがあるものを示しています。
	補足	・・・その他、使用上役立つ補足説明を示します。

警告！ 必ずお守りください

ここに記載された警告や指示を守らないと、感電、火災、重傷など、重大な事故につながるおそれがあります。

- **使用目的：** この電動運搬車は、ご家庭向けの農作業や薪運びなどの運搬作業をする機械です。
- **本書について：** 本書では製品の正しい取り扱い方法や簡単なお手入れ方法について記載しています。また、製品の仕様等の変更により、内容が一部異なっている場合がありますのでご了承ください。
- **使用について：** 電動運搬車についてよくご存知の方であっても、この取扱説明書を必ずお読みいただいた上でご使用ください。
- **製品を譲られる場合：** 次の使用者のために本書と一緒にお渡しください。

サービス（相談窓口）

ご使用中の故障やご不明な点およびサービスについてのご用命は、ご購入された販売店または弊社営業所にお気軽にご相談ください。その際、本機の型式と製造番号・ご購入日などをご連絡ください。疑問がある場合は、作動させたりせず、下記へお問い合わせください。

プラウカスタマーサポート



025-530-6025

もくじ

1	基本的な安全対策	P. 3
2	バッテリーと充電器の取り扱い	P. 5
3	電動運搬車の安全上のご注意	P. 5
4	機器の記号の説明	P. 7
5	サービスと保証について	P. 8
6	表示ラベルとその取扱い	P. 8
7	各部の名称	P. 9
8	梱包部品一覧	P. 10
9	バッテリーの充電	P. 11
10	運転前の点検・調整	P. 12
	運搬車と荷台の点検	
	各部の固定ボルト・ナット・ネジの締付け点検	
	タイヤの点検	
11	荷台ガードの調整	P. 13
12	運搬車の使い方	P. 14
	1. 電源の入り／切り	
	2. 走行と停止	
	3. 運転と操作	
	4. 荷重・積載制限	
	5. ダンプによる荷下ろし	
13	メンテナンス	P. 19
	作動油の点検	
	グリスの注入・塗布	
14	保管方法	P. 21
15	故障と思ったら（トラブルシューティング）	P. 22
16	運搬車を緊急で移動させる方法（動かせなくなった場合の対応）	P. 23
17	保証内容について	P. 24
18	主要諸元	P. 25
	パーツリストについて	P. 26
	保証書	P. 26

1. 基本的な安全対策

安全に作業を行うため、以下の基本的なルールを必ず守ってください。取扱説明書および機械に貼り付けされたラベルをよく読み、機械の潜在的な危険を理解してください。

作業エリアの安全

- **整理整頓**：作業場所は常に清潔で、明るい状態を保ちましょう。散らかったり、暗い場所は事故の原因となります。
- **危険な環境での使用禁止**：ガソリンなどの引火性の液体、可燃性のガスや粉塵がある場所では、絶対に使用しないでください。工具から発生する火花が引火し、爆発や火災を引き起こすおそれがあります。
- **周囲の安全確保**：作業中は、子供や第三者を近づけないでください。注意が散漫になると、機械のコントロールを失う危険があります。

電気に関する安全

- **プラグとコンセント**：プラグの改造はしないでください。お使いになるコンセントに合ったプラグを使用してください。アース付きの工具にアダプターは使用しないでください。
- **感電の防止**：アース（接地）された金属製のものに身体を接触させた状態で充電式製品に触れないでください。
- **水濡れ厳禁**：雨の中や湿気の多い場所で作業しないでください。製品の内部に水が入ると、感電の危険性が非常に高くなります。また、充電器、バッテリーは、雨中や湿気の多いところで充電したり、保管しないでください。
- **コードの取り扱い**：充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。電源コードを熱、油、角のある場所、動くものに近づけないでください。電源コードを利用して電源プラグを抜いたり、電源コードを持って充電器を運ぶなどはしないでください。
- **延長コードについて**：使用環境に適した延長コードを使用してください。
- **充電機器の使用環境**：充電器およびバッテリーは、雨の中に放置しないでください。また、雨の中でバッテリーを製品から外さないでください。濡れた手でバッテリーや充電器の電源プラグ、電源コンセントに触れないでください。感電や発熱、発火、破裂のおそれがあります。高温多湿を避け、直射日光の当たらない環境に保管してください。
- **延長コードについて**：使用環境に適した延長コードを使用してください。

個人の安全

- **常に注意を払う**：作業中は気を抜かず、自分の行動を意識し、常識的に判断してください。疲れているとき、薬物・アルコール・医薬品の影響下にあるとき、または操作に集中できないときは絶対に使用しないでください。
- **保護具の着用**：保護メガネ、防塵マスク、滑り止めの付いた安全靴、作業用手袋、ヘルメットなどの作業に適した服装を着用してください。
- **不意な起動を防ぐ**：スイッチに指をかけたまま運ぶと、誤作動の原因となり危険です。誤操作を防ぐために、点検や調整、交換、保管、運搬車から離れるときは、メインスイッチを『OUT』へ回し、緊急電源遮断キーを抜いてください。キースwitchは『OFF』にして、運転キーを抜いてください。
- **無理のない姿勢で**：常に足元を安定させ、バランスを保って作業してください。不測の事態でも、運搬車をコントロールしやすくなります。
- **適切な服装で**：ゆったりした服やアクセサリーは避け、長い髪は束ねるか帽子で覆いましょう。衣服や髪がレバーや他の突起物に誤って引っかかる恐れがあります。

- **防じん対策:** 人体に有害な成分を含む材料を加工、運搬する際は、十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。
- **操作の注意:** 運搬車を頻繁に利用して慣れた頃は、油断し、周囲に気を配るなどの注意が散漫になることがあります。安全原則を無視した利用をしないようにしてください。不注意な行動は、大怪我を引き起こす可能性があります。
- **雨の中での使用禁止:** 雨の中での使用や操作はしないでください。制御不能、スリップ、転倒などの可能性があり、重大な事故につながる危険があります。

正しい使用とお手入れ

- **無理に使用しない:** 用途に合った正しい方法で使用してください。設計された能力の範囲で使えば、安全かつ効率的に作業できます。
- **点検場所:** 点検を行う際は、雨を避けられる場所で行ってください。損傷した部品がないか、ゆるんでいるボルトはないか操作前に必ず点検を行ってください。
- **保管場所:** 使用しない工具は、子供の手の届かない場所に保管してください。また、この説明書を読んでいない人には操作させないでください。
- **メンテナンス:** 可動部分の動きや部品の破損、ボルトのゆるみ、稼働部品のずれや結合不良などを定期的に点検し、異常がある場合は必ず修理してから使用してください。事故の多くは整備不良が原因です。
- **工具の適切な使用:** 運搬車や付属品、充電器などは、作業内容を考慮し、取扱説明書に従って適切に使用してください。使用用途と異なる使用は、危険な状況を招く恐れがあります。
- **ハンドルを清潔に:** ハンドルやグリップは、乾いた清潔な状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。滑ると、不意の事態に機械を制御できなくなります。

電動運搬車・充電器機の整備

- **専門家の修理:** 電動運搬車は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
- **改造の禁止:** 電動運搬車、充電器、バッテリーを分解や修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作をおこし、怪我をする恐れがあります。
- **スイッチの確認:** メインスイッチとキースイッチでの電源『入・切』ができない場合は、故障しており危険です。絶対に使用せず、修理を依頼してください。
- **異常を検知したら:** バッテリーが異常に熱くなったり、運搬車やバッテリーに深いキズ、また動作に異常や焦げ臭いなどの異臭を感じた場合は、使用を停止して点検・修理に出してください。
- **修理の依頼:** 修理は必ずお買い上げの販売店、またはプラウカスタマーサポートにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理をすると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

2. バッテリーと充電器の取り扱い

バッテリー製品は、取り扱いを誤ると火災やけがの原因となります。

⚠ バッテリー 取り扱いの重要事項

- 必ず **メーカー指定の充電器** を使用してください。異なる組み合わせで使用すると火災の危険があります。
- 損傷したり、改造されたバッテリーは絶対に使用しないでください。火災、爆発、けがの原因となります。
- バッテリーを点検、または取り付ける際は、電源が「オフ」になっていることを必ず確認してください。

- **バッテリーの保管**：使用しないバッテリーは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジなどの金属製品から離して保管してください。金属が端子に触れるとショートし、火傷や火災の原因となります。
- **火気厳禁**：バッテリーや本製品を火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管をしないでください。バッテリーの周辺温度が 50℃以上になる可能性のある場所に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- **液漏れに注意**：乱暴な扱いをしたり、高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液体が漏れることがあります。漏れ出た液体には絶対に触れないでください。
- **液漏れした場合の対処**：万が一液体に触れてしまった場合は、すぐに石鹸と多量の水で洗い流してください。液体が目に入った場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
- **バッテリーの修理・交換**：損傷したバッテリーは分解、改造、修理を行わないでください。修理や交換はお買い求めの販売店、またはプラウカカスタマーサービスへご依頼ください。

3. 電動運搬車の安全上のご注意

電動運搬車として、さらに次の注意事項を守ってください。

操作前の確認事項

- **点検の実施**：使用前に、部品の破損やバッテリーの液漏れ、各部ボルトのゆるみがないか点検してください。荷台のガードや留め具が正しく取り付けられていることを確認してください。
- **周囲の清掃**：作業する場所を十分に点検し、つまずきを防止するために、作業場所を清潔に保ち、ごみがないようにしてください。電動運搬車の点検、移動、設置、運転の際に、万一動いた場合に危険な場所に体の一部を絶対におかないでください。
- **周囲の安全確保**：子供、第三者、ペットを作業エリアには近づけないでください。最低でも 20 メートルは離れてください。人が近づいてきたら、直ちに運搬車を停止してください。

操作中の注意点

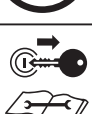
- **駐車場所**：地面が不安定な場所には絶対に駐車しないでください。
- **人を乗せない**：絶対に人やペットなどは乗せて移動しないでください。
- **始動**：電源を入れて始動する前は、クラッチレバーから手を離してください。また、始動と走行は、指示に従って慎重に行い、可動部には足を近づけないようにしてください。

- **走行と操作：**絶対に運転位置から離れないでください。運転中は必ず両手で運搬車のハンドルをしっかりと握ってください。万一本機が大きな石などの埋もれた障害物に衝突した場合、本機がふいに跳ね上がったり、前方に飛び出すことがありますのでご注意ください。
- **安全な走行：**運搬車は安全な速度で走行し、土地の傾斜や路面の状態、積荷重に応じて速度の調整をしてください。
 - ・無理な速度で走行させてはいけません。操作者は運搬車と一緒に走らず、歩いて移動してください。
 - ・後進の走行運転は十分に注意してください。
 - ・砂利道、歩道、道路を走行したり、横断したりするときは、細心の注意を払ってください。
 - ・やわらかい地面では、前進／後進の速度は最初のギア（一番低速）で運転をしてください。急加速、急旋回、急停止はしないでください。
 - ・凍結した路面では機械が横滑りをする恐れがあります。細心の注意を払ってください。
 - ・小石混じりの河川敷、碎石地、鉄筋コンクリート上、不整地、丸太の上などでの走行は、運搬車が致命的な損傷を負い、使用寿命を縮めるため、できるだけ避けてください。
 - ・運搬車と他の物体との間で操作者が押しつぶされる危険性がある狭い場所では操作、走行をしないでください。
 - ・15 度を超える傾斜地では絶対に運転をしないでください。
 - ・最大積載量を超える荷重を載せて運搬しないでください。荷台の積載高さ制限を守って運搬してください。
 - ・傾斜地を移動するときは、前進／後進にかかわらず、常に荷台の重量が均等になっていることを確認してください。
 - ・危険を避けるため、傾斜地では速度のギアを変えないでください。
 - ・ダンプを使用して荷台を傾けるときは、重心は絶えず変化するため、運搬車の安定性には地面の状態が重要です。柔らかい地面では、荷台の荷物が傾くと運搬車が転倒する危険があるため、細心の注意を払ってください。

保管と輸送

- **清掃：**使用後は毎回、ごみを取り除き、汚れがある場合は水や中性洗剤で濡らしてしっかり絞った布で拭き取ってきれいにしてください。決して高圧洗浄機や流水で洗わないでください。製品の内部に水が入ると、感電の危険性が非常に高く、故障の原因になります。
- **保管場所：**子供や知識のない人が触れられないようにしてください。高温多湿を避け、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- **長期保管：**長期保管の場合は、充電器でバッテリーを充電してから保管してください。また、2 か月に 1 度は補充電を行ってください。
- **運搬車の固定：**車両で輸送する際や、保管場所に駐車する際は、運搬車が動かないようにしっかりと固定してください。

4 機器の記号の説明

	安全に関する注意事項です。
	取扱説明書を読み、すべての警告と安全指示に従ってください。
	保護メガネを着用してください。
	保護服と保護手袋、安全靴を着用してください。
	後退するときは、後ろに何もいないことを確認してください。 作業エリアには、第三者（特にお子様やペット）を近づけないでください。
	可動部に手をはさまないように注意してください。
	車輪や可動部に足を近づけないでください。
	メンテナンス中の負傷を避けるため、作業はダンパーが安全にロックされているときにのみ行ってください。
	転倒や転落を避けるため、マシンの上に座ったり、人を乗せたりしないでください。
	荷台の荷重を偏らないように均等に保って移動してください。
	雨にさらしたり、湿った場所で使用しないでください。
	メンテナンスの前に電源を切り、鍵を抜いてください。
	作動中ランプを見つめ続けしないでください。
	環境保護にご協力ください。本製品は家庭ごみと一緒に廃棄できません。 お住まいの自治体が指定する回収場所へお持ちください。
	使用済み製品と包装を分別回収することで、材料のリサイクルと再利用が可能になります。リサイクル材料の再利用は、環境汚染を防ぎ、原材料の需要を減らすのに役立ちます。

5. サービスと保証について

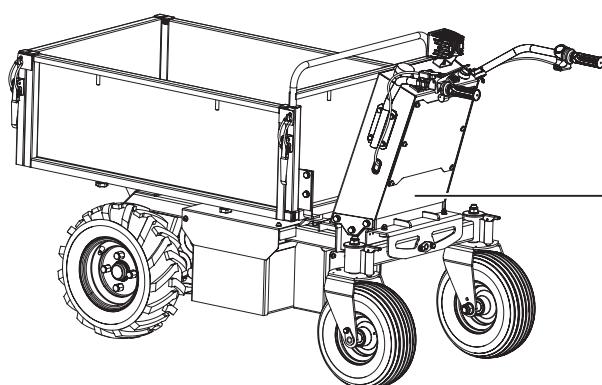
製品保証

本製品には、保証書が添付しています。詳細は、本書巻末の保証書をご覧ください。

サービス（相談窓口）

ご使用中の故障やご不明な点およびサービスについてのご用命は、ご購入された販売店または弊社営業所にお気軽にご相談ください。

その際、本機の型式と製造番号・ご購入日などをご連絡ください。



□型式、製造番号貼り付け位置

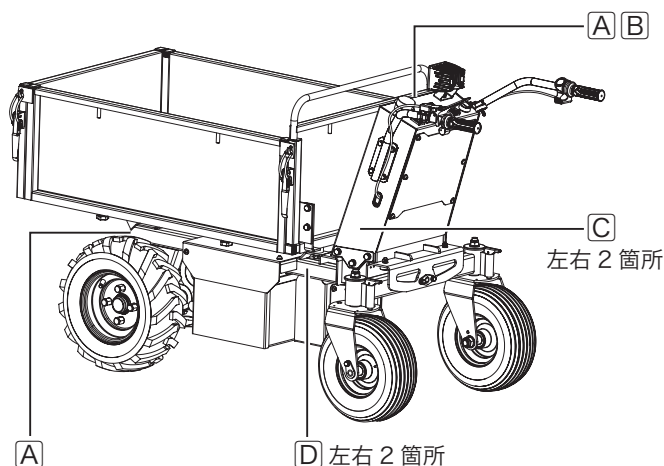
PLOW 電動運搬車 リフター付き 型式: ET500L	
動 力:	1000 W
バッテリー:	48 V 32 Ah
積載容量:	500 kg
機体番号:	240A01549-000
製 造 年:	2025
ダン プ:	油圧ダンブ
[販売店] 株式会社ホンダワークス 〒943-0173 新潟県上越市富岡256-2 TEL 025-530-7025 https://www.plow-power.com/	

6. 表示ラベルとその取扱い

表示ラベルの手入れと貼付位置

本機には安全についてのラベルが貼ってあります。良く読み理解した上で運転してください。

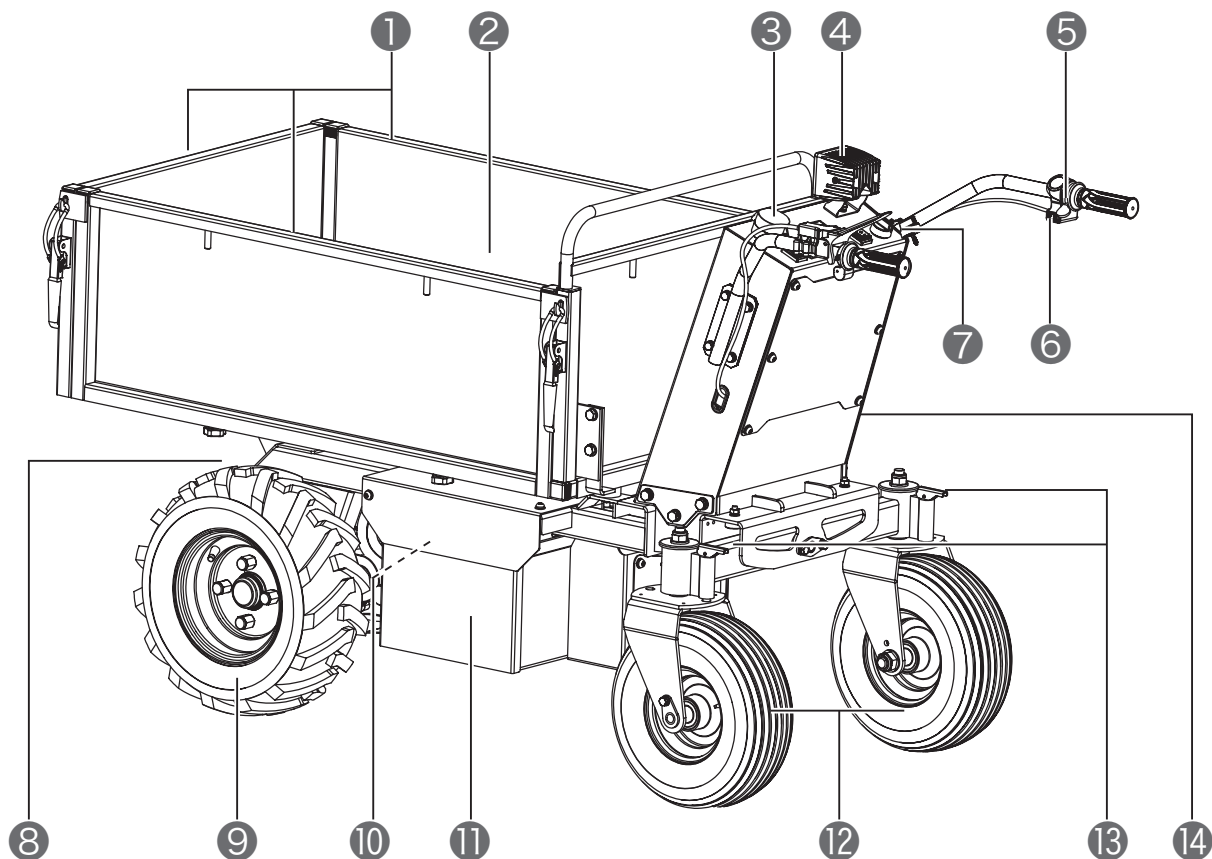
- ① ラベルが汚れている場合は石鹸水で洗い、柔らかい布で拭いてください。
- ② 汚損や紛失したラベルは、お買い上げの販売店に注文し所定の位置に貼ってください。
- ③ ラベルが貼付されている部品を新部品と交換するときは、ラベルも同時に交換してください。
- ④ 新しいラベルを貼る場合は、貼付け面の汚れを完全にふき取り、乾いた後元の位置に貼ってください。



表示ラベル

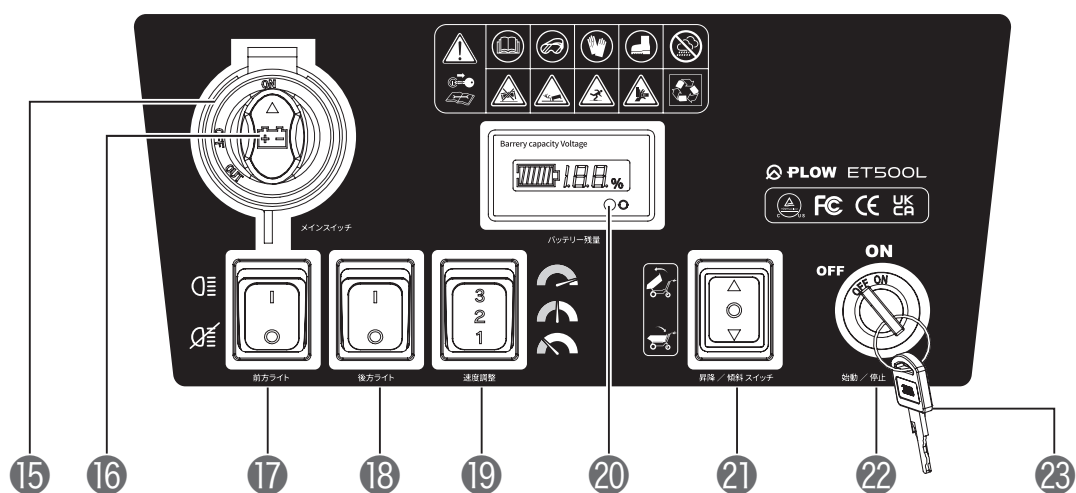


7. 各部の名称



- ① 荷台ガード (3 面) ② 荷台 ③ 操作パネル ④ 後方ライト (照明ランプ) ⑤ 親指スロットルバー
 ⑥ 前進(F) / 後進(R) 切替スイッチ ⑦ クラッチ操作レバー ⑧ 前方ライト (照明ランプ) ⑨ 前輪タイヤ (2 本)
 ⑩ 走行モーター ⑪ バッテリー ⑫ 後輪タイヤ (2 本) ⑬ ホイールロック ⑭ 充電ケーブル差し込み口

操作パネル



- ⑮ メインスイッチ (ON/OFF) ⑯ 緊急電源遮断キー [取り外し可能] ⑰ 前方ライト (ランプ) スイッチ
 ⑱ 後方ライト (ランプ) スイッチ ⑲ 速度調整スイッチ (1/2/3) ⑳ バッテリー残量 / 電圧表示ディスプレイ
 (表示切替ボタン) ㉑ 荷台ダンプスイッチ (昇降 / 傾斜) ㉒ キースイッチ (始動 / 停止) ㉓ 運転キー

8. 梱包部品一覧

- ・ 梱包部品のすべてを慎重に箱から取り出してください。
- ・ すべての部品に不足や問題がないことを確認してください。
- ・ 梱包材を慎重に確認し、使用する前に廃棄はしないでください。
- ・ 不足している場合は、お手数ですが購入した販売店までご連絡ください。

⚠ 警 告

本機を取り出す際は取付金具で手を怪我しないよう、作業手袋を着用して作業を行ってください。
不足物がある場合は、不足している部品が入手されるまで使用はしないでください。

A 電動運搬車本体



B 充電器



C 運搬車保護カバー



D 取扱説明書(本書)



梱包部品以外でご用意いただくもの

[メンテナンス時に必要な工具]

- ・ 13、16、17mm レンチ工具
- ・ 2.5、4、5 mm L 型六角レンチ工具
- ・ グリス と グリス注入器 など

9. バッテリーの充電

- ・充電は付属の専用充電器を使用して行ってください。
- ・ご使用前はバッテリーを充電し、満充電の状態にしてください。

⚠ 警 告

- ・付属の運搬車専用充電器以外での充電は行わないでください。
- ・バッテリー寿命を延ばし、最高の性能を発揮させるために、周囲温度 18℃～24℃の環境で充電および保管をしてください。また、0℃以下の環境温度では充電、保管をしないでください。
- ・充電器の本体、コード、プラグに損傷がないか点検してください。損傷があると火災、感電、または怪我の危険があります。損傷がある充電器は修復されるまで絶対に使用しないでください。

⚠ 重 要

バッテリーは充電状態が空の状態では長期保管すると再充電出来なくなる場合があります。バッテリーは満充電の状態では保管して下さい。使用しない場合でも2ヶ月に1回の充電が必要です。過放電による再充電不能トラブルは保証対象外です。

バッテリーの充電方法

1. 充電器の AC コンセントプラグを家庭用電源（AC100V）に差し込みます。電源が入ると充電器のランプはすべて点灯します。
2. 運搬車側の充電ケーブル差し込み口へ、充電器のソケットコードを差し込みます。根本まで確実に挿入してください。挿入前に差し込み口にほこりや汚れ等がないことを確認してください。
3. 充電中は充電器の POWER ランプが赤色に点灯し、20%ランプから順番に点滅をはじめます。充電が完了すると100%ランプまで全て緑色に点灯します。バッテリーは空の状態から満充電になるまでに約6～7時間程度かかります。



⚠ 重 要

以下の場合は、直ちに充電器の AC コンセントプラグを抜いて充電を中止してください。

- ・12 時間以上経過しても充電完了とならない場合
- ・充電中に充電ランプが点灯または点滅しない場合
- ・充電器に異常な発熱がみられる場合

10. 運転前の点検・調整

- ・ 運搬車をご使用するたびに運転前の点検を行ってください。

⚠ 警 告

各種点検や調整を行う時は、運搬車を安定した水平の場所に置いて、電源を切り、運転キーを抜いてください。運搬車が完全に停止していることを確認してから作業をしてください。

運搬車の清掃は、高圧洗浄機や流水で洗わないでください。製品の内部に水が入ると、感電の危険性が非常に高く、故障の原因になります。

運搬車と荷台の点検

1. 運搬車全体にへこみや損傷がないか、またバッテリーの液漏れなど異常がないかを確認してください。
2. 荷台にゴミや汚れがないか確認してください。汚れている場合は、水や中性洗剤で濡らしてしっかり絞った布で拭き取って清掃してください。

各部の固定ボルト・ナット・ネジの締め付け点検

1. 運搬車の全てのボルト、ナット、ツマミネジがゆるんでいないか点検します。
2. ボルトがゆるんでいた場合は増し締めをしてください。
※点検用の六角レンチ工具、L型六角レンチ工具は付属していません。工具をご用意ください。

タイヤの点検

1. 前輪タイヤ(2本)と後輪タイヤ(2本)に破損や亀裂がないか目視にて確認します。パンク、亀裂が見つかった場合は、修理または新品と交換してください。
2. タイヤのナットがゆるんでいるとタイヤが外れる場合があります。しっかりとナットを締めて固定してください。前輪タイヤのハブロックナット(各4箇所)は締め付けトルク値があります。後輪はナットにゆるみがあれば増し締めしてください。
3. タイヤの空気が十分であるか確認します。
4. タイヤの空気が抜けているようであれば、空気を規定の数値まで注入してください。

前 輪 タイヤ (2本)	
タイヤサイズ	16 × 6.5-8
タイヤの空気圧	20 - 28psi (137 ~ 193kPa)
ナット締め付け規定トルク	(ハブロックナット各4箇所) 40 N・m

後 輪 タイヤ (2本)	
タイヤサイズ	13 × 5-6
タイヤの空気圧	25 - 40psi (172 ~ 275kPa)
ナット締め付け規定トルク	—

11. 荷台ガードの調整

- ・ 荷台の前方 1 箇所、左右 2 箇所の荷台ガードを、任意の幅に引き出せたり、外すことができます。

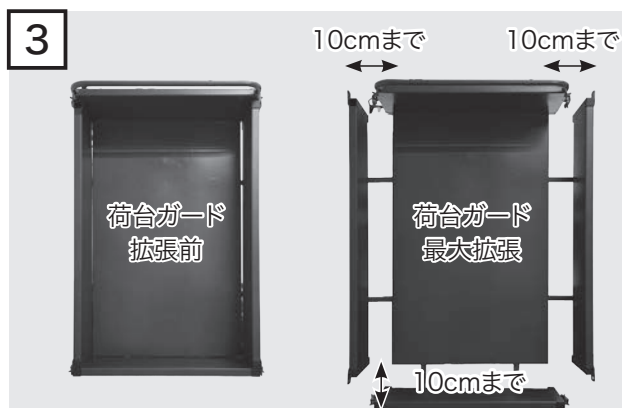
⚠ 警 告

各種点検や調整を行う時は、運搬車を安定した水平の場所に置いて、電源を切り、運転キーを抜いてください。運搬車が完全に停止していることを確認してから作業をしてください。

⚠ 注 意

荷台ガードの幅を規定の 10cm 以上引き出して固定すると、積載荷重の状態によってはガードの脱落や変形がおこる場合があります。荷台ガードの引き出し範囲は 10cm 以内で行ってください。

1. 運搬車は安定した水平の場所においてください。電源が OFF になっていることを確認してください。荷台ガードを固定している端のロック装置（バネクリップ）を解除します。
2. 荷台ガード下のツマミネジ（各 2 箇所）を回して、ネジをゆるめます。[下から見て反時計回り＝ゆるむ]
3. 荷台ガードを任意の幅まで引き出します。（最大 10cm まで引き出せます）ゆるめたツマミネジを回して締め、荷台ガードを固定します。[下から見て時計回り＝締まる]
荷台ガードを取り外した場合でも、ゆるめたツマミネジは元通りに締めてください。



12. 運搬車の使い方

- ・ご使用前に付属の専用充電器を使用してバッテリーの充電を行い、満充電の状態にしてください。
[9. バッテリーの充電 11 ページ]
- ・使用前に、部品の破損やバッテリーの液漏れ、各部ボルトやナットのゆるみがないか点検し、ゆるみがあればしっかりと締め付けてください。 [10. 運転前の点検・調整 12 ページ]
- ・荷台ガードの留め具が正しく取り付けられていることを確認してください。 [11. 荷台ガードの調整 13 ページ]

1 電源の入り／切り

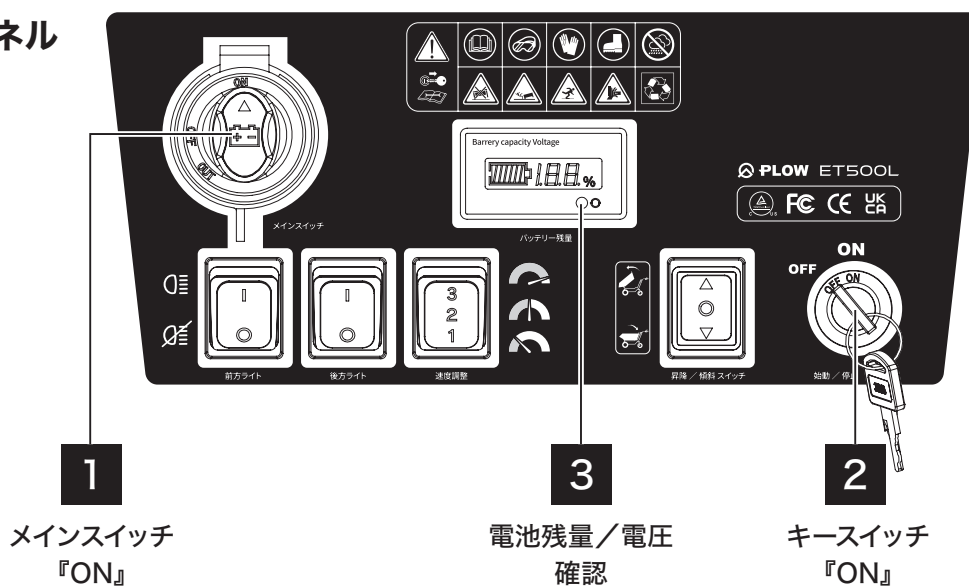
⚠ 警 告

電源を入れる時は、運搬車が不用意に動き出すことを防ぐため、クラッチ操作レバーを握ったり、親指スロットルバーを押さないでください。

⚠ 注 意

動かす前に必ず前進 (F)/ 後進 (R) 切替スイッチのどちらに入っているかを確認してください。
運搬車のスピードは速度調整スイッチ (1/2/3) で選択することができます。

操作パネル



1

メインスイッチのカバーを開けます。緊急電源遮断キーが挿入されていない場合は、メインスイッチの『OUT』の位置からキーを差し込み、キーをつまんで『ON』の位置へ回します。メインスイッチのカバーを閉じます。

2

運転キーを差し込み、キースイッチを『ON』の位置へ回します。

3

ディスプレイで電池残量、バッテリー電圧は 50V 以上であることを確認してください。

表示切り替えボタンを押す度に『バッテリー残量/バッテリー電圧』の表示が切り替わります。

電源を切る時は、逆の順番で**2**キースイッチを『OFF』→**1**メインスイッチを『OFF』の位置へ回します。

補 足 ……メインスイッチの〔緊急電源遮断キー〕は『OUT』の位置に回すと取り外しができます。

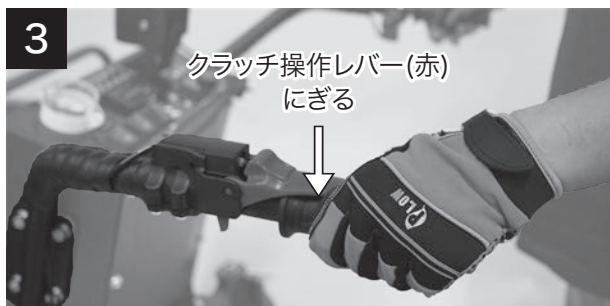
2 走行と停止

⚠ 危険

- ・操作前に運搬車が停止している（ブレーキがかかっている）ことを確認してください。
- ・急な下り坂で制御を失わないようにするには、速度選択スイッチを1（低速）に設定して進みます。
- ・急な方向転換をする場合があります。荷物が荷台にしっかりと固定されていることを確認してください。
- ・急停止は避けてください。運搬車や荷物の転倒の原因となる可能性があります。
- ・傾斜地での駐車は禁止です。必要に応じて車輪止めを使用してください。

⚠ 注意

- ・運搬車を走行させている間は、速度調整スイッチ（1/2/3）を変更しないでください。
- ・速度調整スイッチ（1/2/3）を変更する場合は、クラッチ操作レバーを離してから行ってください。
- ・親指スロットルバーを押せないときは、一旦クラッチ操作レバーを離し、再度握ってからバーを押し込みます。



- 1 前進 (F) / 後進 (R) 切替スイッチを選択
- 2 速度選択スイッチで速度を選択
- | | |
|---------|----------------|
| 前進 3…高速 | 速度 0 ～ 5.0km/h |
| 前進 2…中速 | 速度 0 ～ 4.2km/h |
| 前進 1…低速 | 速度 0 ～ 3.3km/h |
- ※後進速度は 1/2/3 どれを選択しても同じ（後進速度 0 ～ 1.5km/h）
- 3 左側ハンドルのクラッチ操作レバー（赤色）をハンドルと一緒に握る
- クラッチ操作レバーを握るとクラッチが作動します。レバーを離すとクラッチが解除され、ブレーキがかかります。
- 4 右側ハンドルの親指スロットルバーを押し込むと運搬車は走行を開始します
- スロットルバーを押し込むと選択した速度の範囲で徐々にスピードがアップしていきます。バーの押し込みを弱めるとスピードはダウンします。
- 5 クラッチ操作レバー（赤色）または親指スロットルバーのどちらかを離すとブレーキがかかり、運搬車の走行は停止します。

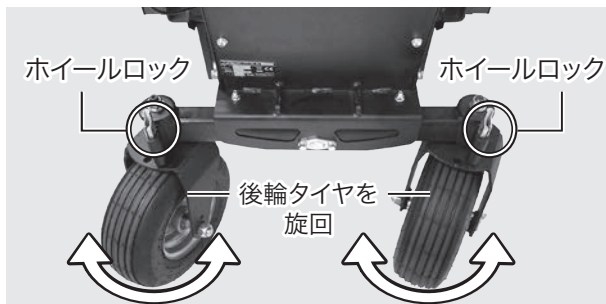
3 運転と操作

荷物の運搬について

⚠ 注 意

- ・事故や転倒を防ぐために、3 ページ～7 ページの安全表示と説明をよく読んで慎重に操作してください。
- ・運搬車の重心が崩れるような荷物の配置はしないでください。荷物の積載高さに注意してください。
- ・荷台と積載物の幅に注意してください。荷台ガードから積載物がはみ出さないように注意してください。
- ・積載物によって運転する人の視界が妨げられないように注意してください。
- ・固定フックを使用し、丈夫なロープやストラップ等で積載物を固定してください。ロープを固定フック以外の部分に固定しないでください。
- ・重い荷物を運ぶときは、バランスを特に注意してください。
- ・運搬車を運転する際は、荷物が適切に分散され、傾いていないことを確認してください。荷物が傾いていると、発進時やブレーキ時、また悪路走行時に運搬車が転倒し、重大な傷害や損害が発生する可能性があります。
- ・運搬車を操作する前に、荷台ガードがしっかり固定されていることを確認してください。
- ・運搬車を柔らかい地面や、不均一で不安定な地面で使用する場合は、速度を落とし、細心の注意を払ってください。
- ・急な下り坂では、速度選択を低速 (1) にして走行してください。坂を下るときには絶対に後進スイッチを選択しないでください。
- ・斜面を走行運転する場合は、運搬車の始動、停止、操縦には十分に注意してください。

右折・左折の操作



運搬車を右折または左折したい時は、ハンドルを両手でしっかり握って後輪タイヤを旋回させて、右折または左折をします。

ホイールロックを使用した走行

ホイールロックを下げると、後輪タイヤは真っ直ぐにロックされた状態で前進または後進をします。後輪タイヤを旋回させたいときは、ホイールロックを上げて解除してください。



照明ライト



視界が悪い時や走行場所が暗いときは、照明ライト (ランプ) を点灯してください。

操作パネルの前方ライトスイッチ、後方ライトスイッチを『ON (I)』にすると、照明ライト (ランプ) が点灯します。

消灯するときは『OFF (O)』にします。

⚠ 注 意

作動中は照明ライト (ランプ) を見つめ続けないでください。

4 荷重・積載制限

⚠ 警 告

・以下の荷重制限と傾斜制限を必ず守ってください。制限を守らない運転・走行は重大な損傷や損害を起こす可能性があります。これらによる事故は保証の対象外です。荷物の積載は慎重に行ってください。

⚠ 注 意

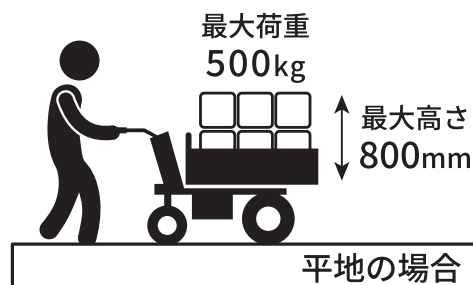
- ・傾斜での走行は、常に速度選択を低速 (1) にしてください。坂を下るときには絶対に後進スイッチを選択しないでください。不安定な地面でも同じく低速で走行し、注意して進んでください。
- ・坂道での移動や停止には特に注意をしてください。
- ・急な坂道では、速度選択 (1/2/3) を変更してはいけません。また、急な坂道でのUターンは避けてください。
- ・荷物は荷台にロープなどで固定してください。
- ・積載物が不安定な場合は、負荷を減らすことを検討してください。
- ・斜面では視界が悪くなるため、荷物の高さを下げてください。

平地の場合

最大積載高さ＝(荷台底面から)800mmまで

■ 平坦な地形

最大荷重＝ 500kg



斜面 上りの場合

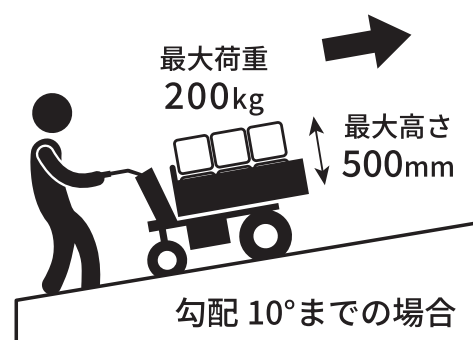
最大積載高さ＝(荷台底面から)500mmまで

■ 傾斜 10° までの上り坂

最大荷重＝ 200kg

■ 傾斜 11° ～ 15° までの上り坂

最大荷重＝ 100kg



斜面 下りの場合

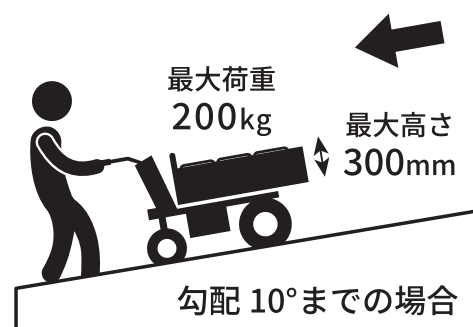
最大積載高さ＝(荷台底面から)300mmまで

■ 傾斜 10° までの下り坂

最大荷重＝ 200kg

■ 傾斜 11° ～ 15° までの下り坂

最大荷重＝ 100kg

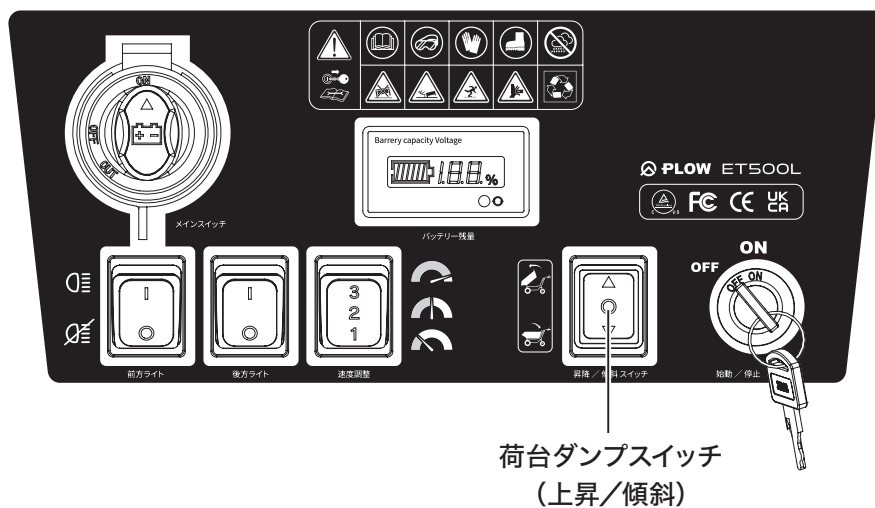


5 ダンプによる荷下ろし

⚠ 警 告

- ・荷下ろしの前に、運搬車の走行を完全に停止してください。(親指スロットルバー、クラッチ操作レバーから完全に手を離してブレーキがかかっている状態にしてください)
- ・荷下ろし場所に人や物がないことを確認してください。

操作パネル



荷台ダンプスイッチ
(上昇/傾斜)



1

荷台ダンプスイッチを上側（△）に押すと荷台が希望の位置に到達するまで自動的に上昇し、荷下ろしが完了します。



2

荷下ろしが完了したら、荷台ダンプスイッチを下側（▽）に押すと荷台が傾斜し、元の位置に戻ります。

13. メンテナンス

運搬車を良好な状態に保つために定期的な調整を行ってください。

⚠ 危 険

- ・メンテナンス操作を進める前に、運搬車の電源を切り、停止していることを確認してください。
- ・メンテナンスを行うときは、必ず運搬車は水平で安定した場所に停車してください。
- ・運転完了直後は運搬車や各部品が高温となっている可能性があります。完全に冷却するのを待ってからメンテナンスを行ってください。

⚠ 警 告

- ・作業手袋、安全な靴、保護メガネなどの保護具を着用してメンテナンス作業を行ってください。

⚠ 注 意

- ・メンテナンス部品は純正スペアパーツまたは推奨の同等品質の部品を使用してください。

対象部品	点検項目	運転前の点検	3 ヶ月毎又は 50 時間運転	掲載ページ
固定ボルト・ナット	点検・締め付け	●		P.12
タイヤ	空気圧	●		P.12
	ナットの点検・締め付け	●		
作動油	オイル量点検		●	P.20
グリス	グリス注入		●	P.20

作動油の点検

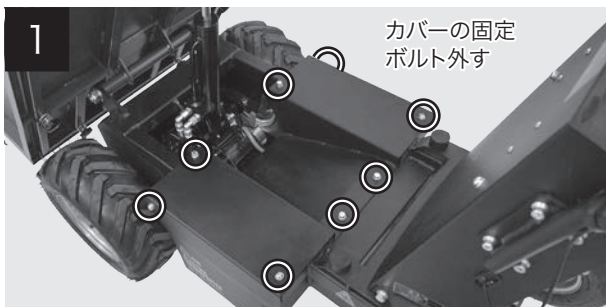
推奨する作動油	VG32
オイル量	0.8 L

⚠ 注 意

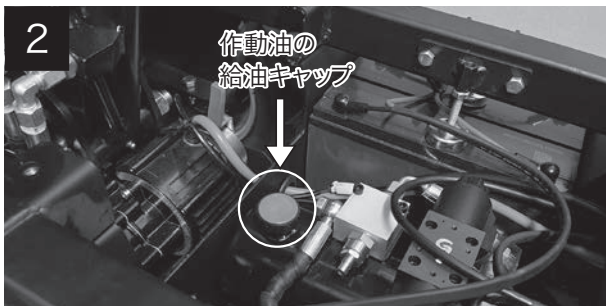
50 時間使用ごとに作動油量の点検を行ってください。オイルゲージを確認しながら給油を行います。作動油量を適切に保ち、過剰に充填しないでください。

運搬車は必ず水平の場所に置いて作業を行います。操作パネルの荷台ダンプスイッチを操作して、荷台を最大まで持ち上げます。

[12-5 ダンプによる荷下ろし 18 ページ参照]



走行モーターユニットのカバーが見えるようになります。カバーの固定ボルトを外し、カバーを取り外します。



作動油の給油キャップを反時計回りに回して外し、ゲージ部のオイルを拭き取ります。キャップを元の位置まで回して締め込み、再度取り外したら、オイルゲージに付着したオイルでオイル量を確認してください。油面が下限を下回っている時は、上限までオイルを補給します。



オイル量が少ない時は、新しいオイルを、規定量の上限位置まで補給します。

4 補給後は作動油の給油キャップを確実に閉めます。その後、走行モーターユニットのカバーを外した時の逆の順番で取り付けます。

グリスの注入・塗布

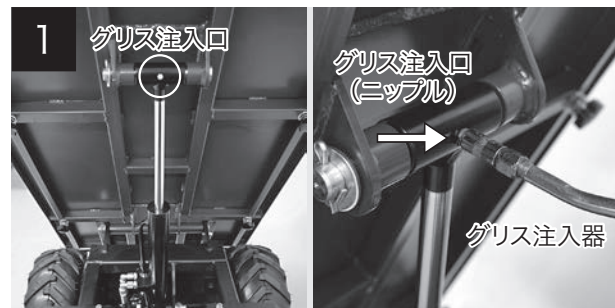
使用するグリス	シャシーグリース
用意する工具	グリス注入器

⚠ 注 意

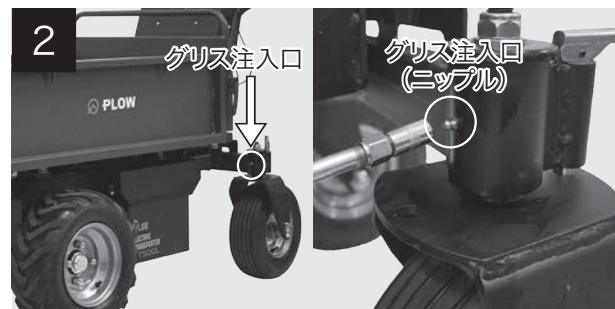
50 時間使用ごとにグリスの注入と塗布を行ってください。

運搬車は必ず水平の場所に置いて作業を行います。操作パネルの荷台ダンプスイッチを操作して、荷台を最大まで持ち上げます。

[12-5 ダンプによる荷下ろし 18 ページ参照]



油圧シリンダー部のニップルの先端を拭いてから、グリス注入器を接続して、グリスを注入してください。余分なグリスを拭き取ります。



後輪タイヤ部のニップル（各 1 箇所ずつ）の先端を拭いてから、グリス注入器を接続して、グリスを注入してください。余分なグリスを拭き取ります。

3 タイヤシャフト部に潤滑油やグリスを塗布します。

14. 保管方法

運搬車を良好な状態に保つために正しく保管をしてください。

⚠ 警 告

- ・保管時は、必ず運搬車を平らな地面に停止させてください。
- ・保管時は、必ずメインスイッチとキースwitchを『OFF』の位置に回し、それぞれの[緊急電源遮断キー]と[運転キー]を抜いてください。メインスイッチのカバーは閉じてください。
- ・保管時は、必ず荷台を一番下まで下げてください。

日常的な保管

短期間の保管の場合は、下記の作業を行ってください。

- ・**清掃**：運搬車と荷台はきれいに清掃してください。汚れている場合は、水または中性洗剤を少量入れた水を含ませ、しっかりと絞った布で拭き取ってください。高圧洗浄機や流水で絶対に洗わないでください。故障します。
- ・**場所**：屋根があり、雨風の当たらない場所、また安定した平らな場所に保管してください。
- ・**荷台は空に**：荷台からすべての荷物を降ろしてください。
- ・**バッテリー**：残量が少ないときは、バッテリーを満充電にしてください。空のまま保管しないでください。バッテリーの寿命が短くなり、残量0%になると再充電ができなくなる可能性があります。

長期の保管

1ヶ月以上使用しない場合は、保管をする前に下記の作業を行ってください。

- ・**清掃**：運搬車と荷台はきれいに清掃してください。汚れている場合は、水または中性洗剤を少量入れた水を含ませ、しっかりと絞った布で拭き取ってください。高圧洗浄機や流水で絶対に洗わないでください。故障します。
- ・**点検**：各部のボルトやナットにゆるみがないか点検し、ゆるみがあればしっかりと締めてください。
- ・**修理**：不具合の箇所がある場合は、修理や整備をしてください。
- ・**環境温度**：温度が極端に高温や低温になる場所では保管しないでください。バッテリー液が漏れ出る危険があります。
- ・**場所**：屋根があり、雨や雪の当たらない場所、また安定した平らな場所に保管します。ほこりがかぶらないよう付属の運転車保護カバーをかけて保管してください。
- ・**バッテリー**：保管前にバッテリーを満充電にしてから保管をしてください。残量が空のまま保管しないでください。バッテリーの寿命が短くなり、残量0%になると再充電ができなくなる可能性があります。

⚠ 重 要

バッテリーは充電状態が空の状態ですと長期保管すると再充電出来なくなる場合があります。バッテリーは満充電の状態です保管して下さい。2ヶ月に1回の充電が必要です。

過放電による再充電不能トラブルは保証対象外です。

15. 故障と思ったら（トラブルシューティング）

症状	主な原因
電源が入らない	バッテリーが装着されていない
	バッテリーの電池残量がない
	メインスイッチが ON になっていない
	キースwitchが ON になっていない（運転キーが装着されていない）
	バッテリーの損傷 または 過放電によりバッテリーが再充電不能
	電気モーターの損傷
	電気配線が接続不良 または 配線ワイヤーの損傷
	充電器の損傷（充電できない）
運搬車が動かない 動いていたが止まった	バッテリーの電池残量がなくなった
	タイヤがパンクしている（タイヤの空気が少ない）
	荷台の荷物が過積載になっている
	電気配線が接続不良 または 配線ワイヤーの損傷
	電気モーターまたはバッテリーの損傷
安定して走行しない 動いたり止まったりして不安定 荷台がスムーズに上下しない	バッテリーの電池残量がない または バッテリーの寿命
	荷台の荷物が過積載になっている
	タイヤがパンクしている（タイヤの空気が少ない）
	グリス量の不足
	電気モーターの損傷
	電気配線が接続不良 または 配線ワイヤーの損傷
異常な振動がある	運搬車の固定金具（ボルト・ナット）がゆるんでいる

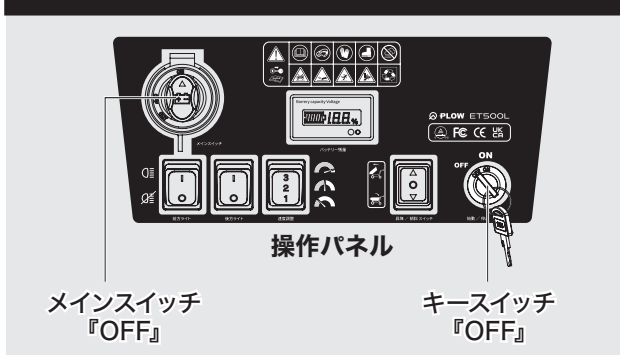
16. 運搬車を緊急で移動させる方法（動かせなくなった場合の対応）

故障などにより運搬車が動かせなくなった場合は、ニュートラルレバーを操作して、ブレーキのロックを解除し、安全な場所に運搬車を手押しで移動させることができます。

⚠ 警 告

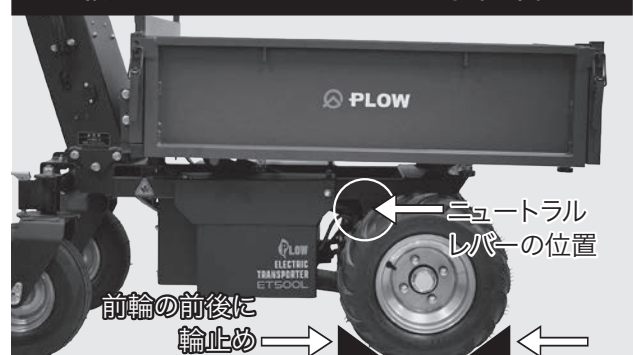
- ・やむを得ない場合に限り、ニュートラルレバーを操作してブレーキのロックを解除しないでください。
- ・ブレーキのロックを解除すると、運搬車が意図せずに動き出し、事故や怪我の危険があります。
- ・ニュートラルレバーを操作してロックを解除した後は、必ずニュートラルレバーを元の位置に戻してください。

電源を OFF にする



- 1** 荷台から積荷をすべて降ろします。
運搬車のメインスイッチとキースイッチをそれぞれ OFF（切り）にします。意図せず不用意に動き出すことを防いでください。

輪止めとニュートラルレバー位置確認



- 2** 運搬車が意図せず不用意に動き出すことを防ぐために、前輪タイヤの前後に必ず輪止めをしてください。運搬車の右側面の荷台下にニュートラルレバーが見えます。

ブレーキのロック状態 [正常な状態]



- 3** 緊急時は荷台下のすき間へ手を入れてレバーを操作してください。
通常のニュートラルレバーの向きは上向き位置にあり、ブレーキロックがかかった状態です。

ブレーキロック解除 [緊急時]



- 4** 緊急時に手押しで運搬車を移動するときは、ニュートラルレバーを前進方向側へレバーを倒します。ブレーキロックは解除されます。
※緊急時や故障時でも、荷台がダンプできる状態なら、荷台を上げてレバーを操作した方がやりやすいです。

- 5** 運搬車を手押しで安全な場所へ移動させます。ブレーキのロックが解除されているためブレーキは効きません。速度が上がらないように注意しながら移動させてください。
安全な場所に駐車をさせたら、『ニュートラルレバー』を元の正常な位置 [ブレーキのロック状態] に戻してください。ブレーキがかかっている状態で、手押しでは動かずに停車していることを確認します。

17. 保証内容について

保証期間

保証期間は、商品のお届け日から 1 年間です。

ただし、業務使用（レンタル・リース用、専門業者を含む業務上の使用）や営業目的でご使用の場合は 6 ヶ月間となります。

保証の適用

取扱説明書に記載された通常の使用範囲において、万が一、製品の材料または製造工程に起因する不具合が生じた場合、本保証規定に基づき無償で修理または部品の交換対応をいたします。

なお、保証対応時の製品の往復送料は、お客様にご負担いただく場合がございます。

保証適用外の事項

- バッテリー等の消耗部品。
- 取扱説明書の指示に反した使用、不当な修理や改造による故障・損傷。
- 落下、衝撃、または天災（火災、地震、水害など）による故障・損傷。
- 経年劣化（紫外線や使用による外装劣化、塗装の色あせ、傷、サビなど）。

※詳細な保証規定については、販売店のウェブサイト等でご確認ください。

18. 主要諸元

型 式		E T 5 0 0 L	
機 体	全 長	1,760 mm（最大拡張時・ダンプ時：1,870 mm）	
	全 高	1,065 mm（最大拡張時・ダンプ時：1,330 mm）	
	全 幅	760 mm（最大拡張時：900 mm）	
	重 量	220 kg	
電 動 機	モーター	1000W ブラシレス DC モーター	
	バッテリー	48V 32Ah（ディープサイクルバッテリー）	
	稼働時間	8 ～ 10 時間	
	充電時間	6 ～ 7 時間	
	走行速度	前進 高速 [3]	0 ～ 5.0 km/h
		前進 中速 [2]	0 ～ 4.2 km/h
		前進 低速 [1]	0 ～ 3.3 km/h
		後進	0 ～ 1.5 km/h
	最大登坂能力	最大 15 ° まで	
	最大積載重量	平 地	500 kg
		傾斜地 10 ° まで	200 kg
		傾斜地 15 ° まで	100 kg
荷 台 寸 法	最大積載容量	0.218 m ³	
	内 寸	1,010 mm × 620 mm	
	拡張時内寸	1,110 mm × 820 mm	
	荷台の高さ	地面から荷台底まで：500 mm	荷台ガード高さ：240 mm
	荷台の最大傾斜角度	58 °	
タ イ ヤ	前輪タイヤ	タイヤサイズ	16 x 6.5 - 8
		空気圧	20-28 psi (137 kPa～193 kPa)
		ナット締付け規定トルク値	40 K・m
	後輪タイヤ	タイヤサイズ	13 x 5 - 6
		空気圧	25-40 psi (172 kPa～275 kPa)



パーツリストについては、ブラウホームページでのご案内となります。

左の QR コードまたは下記 URL からアクセスしてください。

「部品図・パーツリスト」 ページ URL

bit.ly/plowparts